

各種学力調査の全国・県と比較した教科別学力の推移

令和6年3月31日更新

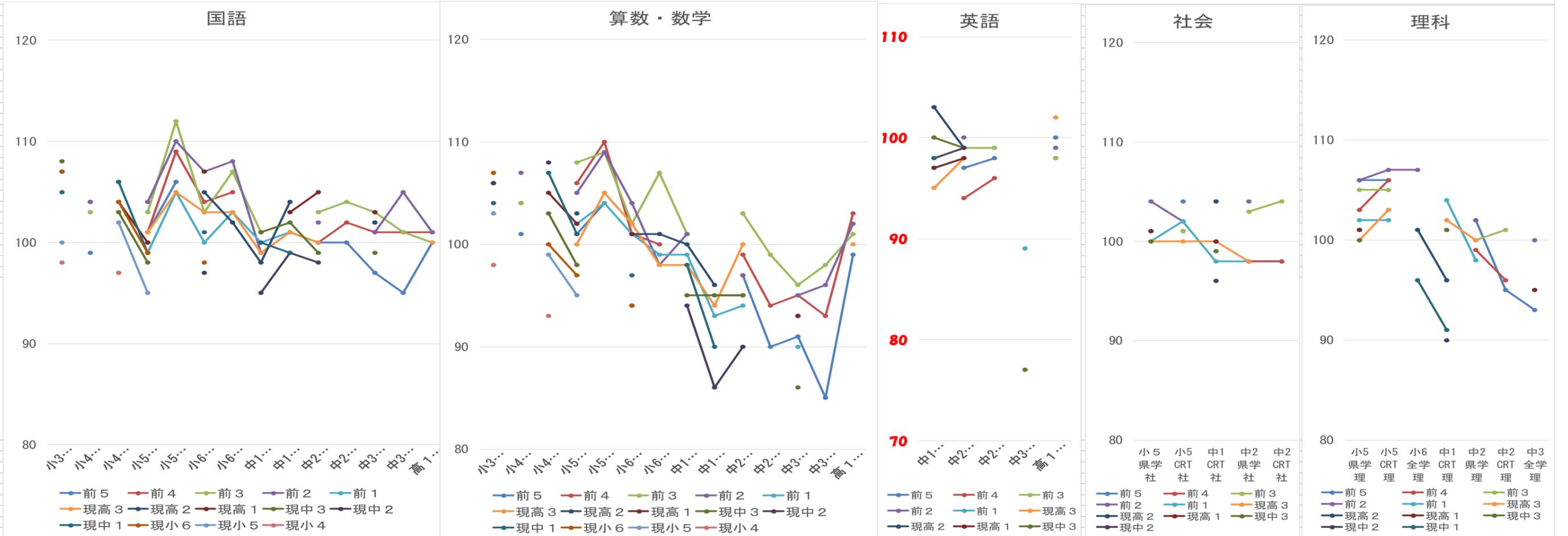
花巻市教育委員会学校教育課

※表中の各教科の斜線はコロナ禍で中止となって未実施

国語	小3 CRT	小4 県学	小4 CRT	小5 県学	小5 CRT	小6 全学A	小6 全学B	中1 新入生	中1 CRT	中2 県学	中2 CRT	中3 全学A	中3 全学B	高1 新入生	算数・数学	小3 CRT	小4 県学	小4 CRT	小5 県学	小5 CRT	小6 全学A	小6 全学B	中1 新入生	中1 CRT	中2 県学	中2 CRT	中3 全学A	中3 全学B	高1 新入生	英語	中1 CRT	中2 県学	中2 CRT	中3 全学	高1 新入生	社会	小5 県学	小5 CRT	中1 CRT	中2 県学	中2 CRT	理科	小5 県学	小5 CRT	小6 全学	中1 CRT	中2 県学	中2 CRT	中3 全学
前5		99		101	106					100	100	97	95	100	前5	101		101	104					97	90	91	85	99	前5		97	98		100	前5		104		98	98	前5	106	106			102	95	93	
前4		104		101	109	104	105			100	102	101	101	101	前4	104		106	110	101	100			99	94	95	93	103	前4		94	96		98	前4		101		98	98	前4	103	106			99	96		
前3		103		103	112	103	107	101		103	104	103	101	100	前3	104		108	109	102	107	101		103	99	96	98	101	前3		99	99		99	前3		101		103	104	前3	105	105			100	101		
前2		104		104	110	107	108	99		102		101	105	101	前2	107		105	109	104	98	101		97	95	96	102	前2		100			99	前2	104	102	104			前2	106	107	107		102		100		
前1				99	105	100	103	99	101	100					前1			102	104	101	99	99	93	94		90	102	前1		97	98		89	前1	100	102	98	98		前1	102	102		104	98				
現高3				101	105	103	103	99	101	100					現高3			100	105	102	98	98	94	100		93	100	現高3		95	98		102	現高3	100	100	100	98		現高3	100	103		102	100				
現高2				100		105	102	98	104			102			現高2			103		101	101					93		現高2		103	99			現高2	101		104			現高2	101		101	96					
現高1				104	100	107			103	105		103			現高1			105	102						95	95		93	現高1		97	98			現高1	101		100			現高1	101		96・107		95			
現中3	108			103	98			101	102	99		99			現中3	106		103	98				95	95	95	86		現中3		100	99		77	現中3	100		99			現中3	100		101						
現中2	107			106		97		95	99	98				現中2	106		108		107	101	94		94	86	90		86	現中2		98	99			現中2		98	99			現中2		96		90					
現中1	105			106	99	101		100	99					現中1	104		107	101		97		97	98	90			現中1		98				現中1		98		92		現中1		96		91						
現小6	107			104	99	98								現小6	107		100	97		94							現小6						現小6						現小6			96	91						
現小5	100			102	95									現小5	103		99	95										現小5						現小5						現小5									
現小4	98			97										現小4	98		93											現小4						現小4						現小4									
現小3	100													現小3	102													現小3						現小3						現小3									

※平成31年度全国学調から国語A・Bを一体化し国語として実施

※平成31年度全国学調から算数・数学A・Bを一体化し算数・数学として実施



国語の相対的学力の推移を見ると、小学校から中学校に進学して低下する傾向はあるものの、算数・数学のように学年進行とともに急勾配で下がり続けることはありません。国語は生活に密着する内容を扱い、小中学校の連続するスパイラルな教材構成により算数・数学ほど日常の習熟・定着学習の影響を受けないためと考えられます。

しかし近年、学級・学習環境に関わらず、いずれの学年教科でも学力が低下する傾向にあり、これまで安定していた国語にも影響が出始めています。

学級・学年経営を充実して学習環境を整えるとともに、低学年でできれば就学前から自主自律等の非認知能力を育む取組に力を入れ、自らを高める力を育むことも大切にしたいと思います。

算数・数学の相対的学力の推移を見ると、小学校から中学校に進学して突然低下するというより、学年進行とともに国語に比べて急勾配で下がり続けます。算数・数学が既習事項を土台に次の学習を行う、いわゆる積み重ねの教科であることと、国語より家庭学習の影響を強く受けるデータが示すとおり、家庭学習の量と質に要因があるものと考えられます。

特に近年は、小学校中学年の段階から学力が低下し、「全国を上回る教科毎の設問数の割合」は激減、「教科毎の正答数別児童生徒の分布」は上位層減少と下位層増加が年々進行しています。

個人差に配慮し基礎基本の定着と学ぶ意欲を育む授業改善、授業とリンクする家庭学習の量と質を確保する取組に力を入れることが大切だと思います。

英語の全国学調は31(元)年度に初めて実施され、令和5年度に2回目を実施されました。

特に今回は、「平均正答率の差」「全国を上回る教科毎の設問数の割合」「教科毎の正答数別児童生徒の分布」で差が拡大しました。

小学校段階から基礎基本を定着し、意思疎通の力を身に付ける指導を両立することが大切だと思います。

社会の学力を把握する機会が多くありませんが、小学校と中学校の学力差は算数・数学より小さく、学年によっては中学校で伸びる学年もありました。

しかし近年は、比較的安定していた社会でも学力が低下する傾向にあります。

児童生徒主体の授業改善により、地理、歴史、公民に対する興味・関心を高めることが大切だと思います。

理科の小学校と中学校の相対的学力の差は、社会に比べて大きくなっています。中学校の学修内容は具体から抽象、巨視から微視に向かい、数的処理やグラフ解釈等、苦手の算数・数学の知識技能を要す学習が増えるからと考えられます。

特に近年は、学ぶ意欲等の他の要因が影響して小・中学校ともに学力低下が顕著です。

児童生徒の興味関心を高める問題解決的な学習で抽象的概念は具体的、微視領域は可能な限り巨視的に扱うとともに、苦手とする算数・数学の「比」の概念は確実に定着することが大切だと思います。

令和5年度全国学調・県学調の予測値と実績値から算定した1年間の成長

令和6年3月31日 花巻市教育委員会学校教育課

I 平均正答率を1年間の学力向上の取組の目標に設定するときの問題点と解決の手立て

平均正答率を目標にして1年間の取組の効果を検証しようとする、過去の学級・教科指導環境や集団の潜在能力の差などによって平均正答率が左右され、1年間の取組の効果が捉えにくくなります。また、学力調査は相対評価のNRTや絶対評価のCRTなど標準化作業を経た「標準学力検査」と全国学調、県学調、市販テスト、教師自作テストなどの標準化作業を経ない「非標準学力検査」に大別され、前者が得点率を用いて年度をまたぐ評価を可能にするのに対して、後者は調査問題の難易度が異なるために平均正答率の比較が意味をなさないこともあります。さらに、中学校数学、英語などは全国レベルと県レベルの調査母体の格差が大きく、全国学調と県学調など異なる調査間の比較を難しくすることもあります。つまり、**平均正答率を目標に1年間の取組の効果を検証するためには、過去の学級・教科指導環境や集団の潜在能力、調査問題の難易度、調査母体の格差などを踏まえて評価する必要があります。**

そこで花巻市では、「平成31年度（令和元年度）花巻市学力向上アクションプラン」から児童生徒の意識調査結果を指標に掲げて1年間の取組の効果を検証することにしました。同時に、これまで積み上げてきた学力データと当該集団の直近の学力実績を基にして、**過去の学級・教科指導環境や集団の潜在能力、調査問題の難易度、調査母体の格差など平均正答率に及ぼす影響を可能な限り補正し、1年間の学校・教職員の取組や児童生徒の頑張りを評価する手立てを模索し、1年間の学校・教職員の指導効果や児童生徒の成長を看取することができるようにしました。**令和2年度はコロナ禍で全国学調と県学調が中止になり令和3年度全国学調の予測値を算定して期待値（目標値）を設定することができずでしたが、令和4年度以降は部分的に令和2年度の全国学調と県学調の中止の影響を受けつつも期待値（目標値）の設定が可能になっています。

II 令和5年度小4～前7義務教育段階のCRT・県学調・全国学調の花巻市と県・全国の平均正答率との差一覧【単位%】

R5年度学年	小3全国CRT	国語	算数	小4全国CRT	国語	算数	小5県学調	国語	社会	算数	理科	小6全国学調	国語A	国語B	算数A	算数B	理科	新入生	国語	数学	中1全国CRT	国語	社会	数学	理科	英語	中2県学調	国語	社会	数学	理科	英語	中3全国学調	国語A	国語B	数学A	数学B	理科	英語					
小3	R5	0	+1	R6			R7					R8						R9																										
		課題																																										
小4	R4	-2	-2	R5	-2	-4	R6					R7																																
		最低危機			過去最低																																							
小5	R3	+1	+2	R4	+1	0	R5	-3	-	-3	-	R6																																
		課題			過去最低			過去最低大きく更新																																				
小6	R2	+4	+5	R3	+3	0	R4	-1	-	-2	-	R5	-1	-4	-																													
		課題			過去最低			過去最低危機的					算数過去最低危機的																															
中1	R1	+3	+3	R2	+4	+4	R3	0	-	+1	-	R4	0	-2	-2	R5	0	-1	R5	-1	-5	-5	-5	-1	R6																			
		改善			改善			前々学年より国算改善					前学年より改善も課題大				やや改善			社会過去最低全体的に課題																								
中2	H30	+5	+5	R1	+4	+5	R2	コロナ中止	-	コロナ中止	-	R3	-2	-4	-	R4	-3	-3	R4	-1	-3	-8	-6	-1	R5	-1																		
		改善			改善			過去最低危機的					最低危機			数学・理科過去最低危機的						数学過去最低大きく更新																						
中3	H29	+5	+5	H30	+2	+2	R1	-1	0	-1	0	R2	コロナ中止			R3	0	-2	R3	+1	-1	-3	+1	0	R4	-1																		
		課題			課題			学力・意識ともさらに低下					小学校・前学年より改善				前学年より数学改善						数英過去最低で大きな課題																					
高1	H28	-	-	H29	+3	+4	H30	0	+1	+1	0	R1	+4	0	-	R2	コロナ中止	R2	+2	0	-3	-2	-2	R3	+3																			
					前学年より国語改善数英低下			前学年並みに安定					前学年より再び低下						前々学年より国語改善数英低下						前学年より国数改善																			
高2	H27	-	-	H28	-	-	H29	-1	+1	+2	+1	H30	+3	+1	0	0	+1	R1	-1	0	R1	+2	+2	-2	-2	+2	R2	コロナ中止																
					前学年より国語低下算数改善			前学年並みに安定					前学年までより大きく改善						前学年より再び低下						前々学年より国語改善数英低下						前学年より数学改善													
高3	H26	-	-	H27	-	-	H28	+1	0	0	+1	H29	+2	+1	+1	-1	-	H30	0	-2	H30	+1	0	-4	+1	-3	R1	0	-1	-1	0	-1	R2	コロナ中止										
					前学年よりさらに算数低下			前年度・前学年より改善					数学・英語大きな課題						前年度・前学年より大きく改善						前年度・前学年より大きく改善						前年度・前学年より大きく改善													
前1	H25	-	-	H26	-	-	H27	+1	0	+2	+1	H28	0	+1	0	0	-	H29	0	+1	H29	+1	-1	-4	+3	-2	H30	0	-2	-3	-1	-2	R1	+1										
					前学年までより大きく低下			前学年までより大きく低下					数学・英語大きな課題						前年度までより大きく低下						27中3に類似大きな課題																			
前2	H24	-	-	H25	-	-	H26	+3	+3	+4	+4	H27	+5	+5	+3	-1	+5	H28	+1	0	H28	-	-	-	-	-	H29	+1	+1	-1	+1	0	H30	+1	+3	-3	-2	0						
前3	H23	-	-	H24	-	-	H25	+3	-	+6	+4	H26	+3	+4	+2	+4	-	H27	+1	0	H27	-	-	-	-	-	H28	+1	+1	+2	0	-2	H29	+3	+1	-3	-1							
前4	H22	-	-	H23	-	-	H24	+1	-	+4	+3	H25	+2	+3	+1	+1	-	H26	-	-	H26	-	-	-	-	-	H27	0	-1	0	0	-3	H28	+1	+1	-3	-3							
前5	H21	-	-	H22	-	-	H23	+1	-	+1	+1	H24	抽出校集計					H25	-	-	H25	-	-	-	-	-	H26	0	-1	-2	+1	-2	H27	-2	-4	-6	-6	-4						
																									過去最低で大きな課題																			
前6	H20	-	-	H21	-	-	H22	0	-	+3	-	H23	震災未実施					H24	-	-	H24	-	-	-	-	-	H25	+1	+2	0	+1	-2	H26	0	0	-4	-4							
前7	H19	-	-	H20	-	-	H21	+1	-	+2	-	H22	抽出校集計					H23	-	-	H23	-	-	-	-	-	H24	+2	+1	+2	+2	0	H25	+2	+1	-3	-4							

【本資料の要点】 令和5年度1年間の成長

令和5年度全国学調全国比予測値は小6国語+0.4、算数-4.1、中3国語-1.1、数学-5.3、英語-4.4、実績値は小6国語+1.2、算数-3.5、中3国語-0.8、数学-7.7、英語-10.6でした。1年間の成長値は全国比小6国語-1.6、算数+0.6、中3国語+0.4、数学-1.7、英語-6.6となり、**小6算数と中3国語はプラス、小6国語と中3数学、英語はマイナス、特に英語が課題**です。同様に、令和5年度県学調の1年間の成長値は県比小5算数+0.7、中2国語+0.3、数学+1.9、英語+0.7プラス、**小5国語-0.2マイナス、中2はよい傾向**です。

Ⅲ 令和5年度全国学調の予測値と期待値（目標値）の算定

1 5年度小6全国学調期

	国語	社会	算数	理科
ア 前4～中1・8個学年の小5県学調県差の平均実績値	+1.0	+1.0	+2.5	+2.0
イ 前4～中1・8個学年の小6全国学調全国差の平均実績値	+2.4	-	+0.4	+3.0
ウ 全国学調と県学調の平均実績値の差（補正值） イーア	+1.4	-	-2.1	+1.0
エ 小6の小5県学調県差の実績値	-1.0	-	-2.0	-
オ 小6全国学調全国差の予測値 エ+ウ	+0.4	-	-4.1	-
カ 学力向上取組による加算	+1.0	-	+1.0	-
キ 小6全国学調全国差の期待値（目標値） オ+カ	+1.4	-	-3.1	-

2 5年度中3全国学調

	国語	社会	数学	理科	英語
ア 前7～高1・8個学年の中2県学調県差の平均実績値（英語混）	+1.0	0	-0.5	+0.6	-1.6
イ 前7～高1・8個学年の中3全国学調全国差の平均実績値	+0.8	-	-3.8	-2.0	-6.0
ウ 全国学調と県学調の平均実績値の差（補正值） イーア	-0.2	-	-3.3	-2.6	-4.4
エ 中3の中2県学調県差の実績値（英語 IBA）	-1.0	-	-2.0	-	0
オ 中3全国学調全国差の予測値 エ+ウ	-1.2	-	-5.3	-	-4.4
カ 学力向上取組による加算	+1.0	-	+1.5	-	+1.5
キ 中3全国学調全国差の期待値（目標値） オ+カ	-0.2	-	-3.8	-	-2.9

3 全国学調の予測値と実績値から算定した小6・中3段階の1年間の成長 ※ 予測値と実績値の差を1年間の成長とみなします。

令和 5年度 の学年	小学校6年						令和 5年度 の学年	中学校3年								
	国語			算数				国語			数学			英語		
	予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長		予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長
小6	+0.4	-1.2	-1.6	-4.1	-3.5	+0.6	中3	-1.2	-0.8	+0.4	-5.3	-7.0	-1.7	-4.4	-10.6	-6.6
中1	+1.2	+0.4	-0.8	-1.4	-2.2	-0.8	高1	+2.9	+2.0	-0.9	-5.5	-3.4	+2.1	-4.5	未実施	-
中2	算定不能	-1.7	-	算定不能	-4.2	-	高2	算定不能	+1.4	-	算定不能	-4.2	-	-5.5	未実施	-
中3	+0.5	データ無	-	-2.9	データ無	-	高3	+0.1	データ無	-	-3.7	データ無	-	-5.4	未実施	-
高1	+1.6	+4.2	+2.6	-1.5	+0.4	+1.9	前1	-0.6	+1.2	+1.8	-6.3	-5.6	+0.7	-6.3	-6.0	+0.3
高2	+1.4	+2.3	+0.9	+2.8	+0.5	-2.3	前2	+0.6	+1.9	+1.3	-5.3	-2.5	+2.8	-	未実施	-
高3	+2.1	+1.9	-0.2	-2.7	+0.3	+3.0	前3	+1.4	+1.7	+0.3	-2.0	-1.9	+0.1	-	未実施	-
前1	+0.9	+0.8	-0.1	-0.8	+0.1	+0.9	前4	-0.2	+0.6	+0.8	-3.9	-3.0	+0.9	-	未実施	-
前2	+4.3	+5.1	+0.8	+1.4	+0.9	-0.5	前5	-0.5	-2.9	-2.4	-5.0	-6.0	-1.0	-	未実施	-
前3	+4.3	+3.1	-1.2	+3.0	+2.9	-0.1	前6	+0.1	+0.1	0	-3.5	-3.9	-0.4	-	未実施	-
前4	+2.6	+2.5	-0.1	+1.5	+0.7	-0.8	前7	+1.3	+1.7	+0.4	-1.1	-3.7	-2.6	-	未実施	-

ここ数年、全国・県の学力に比べて、花巻市は下がり続けています。教職員や児童生徒が1年間頑張っても、花巻市の正答率が下がり続ける流れの中、教職員や児童生徒は成果を実感できずモチベーションが低下しているかもしれません。そこで、本資料を活用して1年間の成長の度合いを目標にして評価するシステムを作ることにより、教職員や児童生徒のやりがいや意欲を前向きにする取組をしてみたいか、がでしょうか。

Ⅳ 令和5年度県学調の予測値と期待値（目標値）の算定

※ 小4、中1のCRT実施は4年間分とデータが少なく、「予測値」と「実績値」の誤差は大きくなることが予測されます。

1 5年度小5県学調

	国語	社会	算数	理科
ア 高1～小6・4個学年の小4 CRT 全国差の平均実績値	+4.0	-	+2.8	-
イ 高1～小6・4個学年の小5県学調県差の平均実績値	-0.5	+0.6	-0.3	+0.5
ウ 県学調とCRTの平均実績値の差（補正值） イーア	-4.5	-	-3.1	-
エ 小5の小4 CRT 全国差の実績値	+1.3	-	-0.4	-
オ 小5県学調県差の予測値 エ+ウ	-3.2	-	-3.5	-
カ 学力向上取組による加算（低過ぎ？高過ぎ？）	+1.0	-	+1.0	-
キ 小5県学調県差の期待値 オ+カ	-2.2	-	-2.5	-

2 5年度中2県学調

	国語	社会	数学	理科	英語
ア 前1～中3・4個学年の中1 CRT 全国差の平均実績値（英語 CanDo）	+1.3	-0.3	-3.5	+0.7	-1.3
イ 前1～中3・4個学年の中2県学調県差の実績値（英語 IBA）	+0.5	-1.2	-2.0	-0.2	-1.3
ウ 県学調とCRTの平均実績値の差（補正值） イーア	-0.8	-0.9	+1.5	-0.9	0
エ 中2の中1 CRT 全国差の実績値（英語 CanDo）	-0.5	-2.7	-7.7	-5.9	-1.1
オ 中2県学調県差の予測値（英語 IBA） エ+ウ	-1.3	-3.6	-6.2	-6.8	-1.1
カ 学力向上取組による加算（低過ぎ？高過ぎ？）	+1.0	+1.0	+1.5	+1.0	+1.5
キ 中2県学調県差の期待値（英語 IBA） オ+カ	-0.3	-2.6	-5.7	-5.8	+0.4

3 県学調の予測値と実績値から算定した小5・中2段階の1年間の成長 ※ 予測値と実績値の差を1年間の成長とみなします。

令和 5年度 の学年	小学校5年					
	国語			算数		
	予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長
小5	-3.2	-3.4	-0.2	-3.5	-2.8	+0.7
小6	+0.3	-0.8	-1.1	-3.0	-1.8	+1.2
中1	+1.0	-0.5	-2.5	+1.5	+0.5	-1.0
中2	+1.1	データ無	-	+2.3	データ無	-
中3	-1.1	+1.1	+2.2	-0.9	-0.9	0
高1	-0.2	-0.2	0	+1.0	+1.0	0

令和 5年度 の学年	中学校2年														
	国語			社会			数学			理科			英語 IBA		
	予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長
中2	-1.3	-1.0	+0.3	-3.6	-	-	-6.2	-4.3	+1.9	-6.8	-	-	-1.1	-0.4	+0.7
中3	+1.0	-0.6	-1.6	-1.7	-	-	-1.0	-2.1	-1.1	-0.1	-	-	+1.1	-0.7	-1.8
高1	+1.4	+3.0	+1.6	-0.6	未実施	-	-1.6	-2.0	-0.4	-4.4	未実施	-	-1.0	-1.1	-0.1
高2	+2.0	データ無	-	+1.5	データ無	-	-0.6	データ無	-	-4.4	データ無	-	+2.8	-1.0	-3.8
高3	+0.5	+0.4	-0.1	+0.4	-1.0	-1.4	-2.4	-1.2	+1.2	-2.5	+0.5	+3.0	-2.6	-1.0	+1.6
前1	+0.2	+0.2	0	-1.4	-1.4	0	-2.8	-2.8	0	-0.9	-0.9	0	-1.7	-1.7	0

注 英語に係る補足説明
英語の中1 CRT は Can Do(県比)、中2県学調は英検 IBA(県比)を使って実施。英検 IBAは「書くこと」等がないので、Can Doの出題領域とは異なる。

【意識の実態】

「令和5年度花巻市学力向上アクションプラン」の指標項目の達成状況【単位%】

※ 「<成果指標2>花巻市学力向上策の要点」に係る令和6年度目標値設定資料（平成30年度策定、令和元年度部分改定）です。令和元年度から3年度までの3力年で、岩手県実績値の最高値を花巻市令和4年度以降の目標値に設定しています。ただし、岩手県令和5年度実績値が花巻市令和5年度目標値を上回った場合、花巻市令和6年度目標値は岩手県令和5年度実績値に更新しています。

学力向上策	指標項目（県学調 児童生徒質問紙 肯定回答）	学年	対象	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	学年	対象	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	備考
学級・学年の充実 学業の実	1 学校に行くのは楽しいと思いますか	小5	市県	90 88	83 85	87 87	88 87	81 85	84 85	87	中2	市県	88 88	86 86	87 86	81 84	85 85	84 86	86	
	2 自分にはよいところがあると思いますか	小5	市県	78 78	69 76	73 74	76 73	68 73	71 72	78	中2	市県	71 74	70 71	72 72	71 71	74 72	76 76	71	花巻市3期計画指標
	15 先生やまわりの人は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	小5	市県	78 80	75 79	78 80	80 80	80 81	81 81	81	中2	市県	82 82	79 82	83 83	80 82	83 84	86 86	更新 86	
	19 R1～R4学級は、お互いに助け合ったりお互いのよさを認め合ったりできている学級だと思いますか R5～新規授業や学級活動の話し合いで、自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	小5	市県		77 83	82 86	89 89	83 87	新規 73 73	新規 73	中2	市県		85 84	88 87	86 88	89 88	新規 73 76	新規 76	R5 質問紙項目内容変更 R4 以前データ比較不能
	22 R1～学級には、授業中の先生からの質問や、教科書の問題の答えなどについて、間違っても認めあえる雰囲気がありますか	小5	市県		81 83	84 86	87 86	84 85	86 85	86	中2	市県		86 86	88 88	87 88	88 88	88 88	88	
学習者主体の授業改善	26 R1～授業では、学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができていると思いますか	小5	市県		82 83	81 82	82 82	84 82	81 80	83	中2	市県		84 87	86 87	83 85	86 87	85 86	87	
	20 R1～授業中、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思いますか	小5	市県		79 82	80 82	86 83	84 82	76 78	83	中2	市県		73 78	84 83	83 82	82 82	80 80	83	R5 小5 経年課題
	21 R1～授業中の振り返る活動で、その時間の学習内容で何が大切だったか分かったと感じていますか	小5	市県		90 91	90 90	92 90	88 88	84 87	91	中2	市県		83 86	87 88	88 88	87 87	86 86	88	R5 小5 経年課題
	23 R1～先生は、あなたが授業やテストでわからなかったところや、理解していないところについて、分かるまで教えてください	小5	市県		86 91	91 92	93 93	92 92	90 90	93	中2	市県		84 86	91 90	88 91	91 91	89 90	91	
家庭学習の抜本的改善	7 学校の授業以外で、1日にどれくらいの時間、勉強しますか（小5・6年→1時間以上、中→2時間以上、勉強している）	小5	市県	74 71	71 69	73 73	76 69	69 67	57 63	73	中2	市県	20 22	18 21	20 25	16 20	19 20	17 18	25	R5 小5 経年課題 全国学調中3は35%以上
	8 家で、自分で計画を立てて勉強していますか	小5	市県	67 66	67 68	70 70	72 69	69 69	63 66	70	中2	市県	45 47	49 51	52 54	53 52	52 52	50 50	54	R5 小5 経年課題
	9 R1～学校の宿題などに加え、弱点を克服する学習に取り組んだり、発展的な問題に取り組んだりしていますか	小5	市県		61 65	61 67	68 67	64 68	64 65	68	中2	市県		51 53	58 59	57 58	61 60	59 58	60	

※ R1小5とR4中2、R2小5とR5中2、R3小5とR6中2はそれぞれ同一集団

【解説】かつて県と同等以上に望ましい回答傾向を示していた児童生徒質問紙調査の課題が顕在化している近年の状況は、小学校の学力低下が進行して現中3以降の学年で著しく学力が低下している近年の傾向と重なります。児童生徒の学力や意識はここ数年間で忽然と課題が顕在化してしまったのはなぜなのか、残念ながら要因を特定できる証拠は十分ではありませんが、考えられる要因については早急に躊躇なく改善に着手することが必要です。特にR5小5は、「学習者主体の授業改善」に係る「授業中、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思いますか」「あなたは授業中の振り返る活動で、その時間の学習内容で何が大切だったか分かったと感じていますか」、「家庭学習の抜本的改善」に係る「学校の授業以外で、1日にどれくらいの時間、勉強しますか」「家で、自分で計画を立てて勉強していますか」は過去最低を大きく更新し、この表に掲載していない「自主学習の取組」に係る「学校の宿題だけでなく、自主学習に取り組んでいますか」も県を大きく下回っています。これらは学びに立ち向かう意欲が弱く学力低迷の大きな要因と考えられます。また、同様にこの表に掲載していない「調査問題への取組」に係る「解答しようと努力した」はR5小5、R5中2ともに課題があり、幼少期から育まれる非認知スキルと関わる学力低迷の要因と考えられます。